

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 5年 3月 10日

事業所名 ナチュラルこどもハウス

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		4		・人数が多くなるとそれぞれの活動(おやつ・宿題)のスペースになってしまうため、移動やしきりが必要だと考える。 ・活動にあわせてパーティションを作ったりコーナーを分けをする等工夫し人数に対しての十分なスペースがあり、個人でもある程度落ち着いて遊ぶことができるスペースも確保できている。
	2 職員の配置数は適切である		2	2	・人数がいても全ての動きを把握している人ではないため、指示をする時間が必要となってしまうので事前に伝えてできるようにしている。 ・児童の人数に対して配置数は適切だが、現場経験のない人や入社間もない方の際は少なく思う時はあるが、それぞれ対応連携でき、事前の引継ぎやコミュニケーションも心掛けている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4		・玄関や室内の段差にはスロープを使用しています。足元の不安定な児童に対して見守りや個別に誘導するな特性に合わせて安全面にも配慮をしている。 ・それぞれの活動にあわせて工夫しながら児童に合わせて環境を整え、日頃より職員間で見直しもしている。 ・バギーの児童も過ごしやすい環境になっています。 ・特性に応じ、視覚化し(スケジュールや絵カード等を用いた情報伝達)わかりやすく伝えていきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		3	1	毎日の清掃・消毒(児童が触れる物は全て)定期的な喚起を行い、活動の区切り(午前・午後)で手が触れている部分は念入りに(ドアノブ・トイレ等)消毒をしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		3	1	今後も日頃から担当者による業務改善だけでなくすべての職員が目標設定と日々の振り返りを行っていきけるよう心がけていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		4		HPで公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4	第三者による評価は受けていません。導入について、改善課題とします。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		3	1	機会はあるが、休憩や他作業で参加できていないことが多く、意味をなしてると思えない。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		4		日頃の児童の様子は雑談も含めて常に共有できるよう心掛けています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		4		社内で統一されたアセスメントツールを使用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている		4		・日々振り分けて内容を立案しています。 ・行事等は相談し進めています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		3	1	・自分だけで考えるだけでなく、いろいろなツールで調べて考えたいます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		3	1	・平日、休日・長期休暇に応じて流れを決めて支援しています。 ・学校で取り組んでいる内容を把握し、それにそったプリント等を用意しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		4		一人一人のニーズに応じ、個別の課題と集団適応・社会性の課題を組合せ支援計画を作成しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		3	1	・内容やねらいを話し合い取り組んでいます。 ・歩行不安定の児童や他児との関わり方に指導員の付き添いが必要な児童もいる為、担当職員の確認と自ら全体を見て必要なところは率先して動くように意識しています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		2	2	振り返りを記入することで次回以降に生かすことができるようにしています。行事の際は他職員に必ず意見をもらっています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		3	1	記録の徹底と検証・改善に努めています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		4		定期的にモニタリングを行い評価・見直しを行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		4		日常生活動作支援への取り組みや創作活動、余暇の提供など様々な活動を取り入れております。

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	児童発達支援管理者のほか担当者数名が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	・引継ぎの際本人の調子や取り組んでいることを聞き取り支援に繋がっています。 ・宿題の取り組み方について気になったことがあればすぐに聞くようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	相談支援事業所を中心に各関係機関との連絡体制を整備していますが、全児童ではないので、保護者様の意向を確認しながら進めていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	必要に応じて関係機関とも情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	保護者様からの意向に応じて担当者会議の開催など情報共有を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2 行われる研修に積極的に今後参加できるよう体制を整えていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	4 外出レクで公園に行くことがあり、その際に関わることはあります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2 各区の主催している連絡会に今後も積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	引継ぎの際にその日にあった出来事を伝えたり、気になっていること(家庭での様子)について聞くように心掛けています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	4 スタッフのスキルアップを図り、ご家族への支援の拡充を行っていきたく思っております。面談やご相談の中でお子様の対応や情報の共有を図っていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	見学时・契約時に口頭と書面で説明を行っていますが、より丁寧な分かりやすい説明を心がけていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	送迎時や連絡帳、電話などを常に相談ツールとして活用し、丁寧な対応を心がけ随時対応しています。必要に応じて全職員で話し合いサポートできるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	今年度は2月に開催しました。ご意向を確認し、今後保護者様が連携や、意見交換ができる機会を提供していきたいと思えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	職員間ですぐに共有し話し合い解決策をすぐになだどのように対応していくか出すようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	おたよりを必ず作成しどんな行事をどんな内容で行うか伝えていきます。
	35	個人情報に十分注意している	4	個々で分けて保管しています。SNSでも顔を隠す等工夫しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	特性に応じて視覚的に工夫したコミュニケーション方法を取り入れています。また、保護者との情報伝達は連絡帳だけでなく、電話で必要な際は対応しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	4	4 今後検討し地域とのつながりを作っていきたいと思えます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	各種マニュアルの策定した、職員全員でマニュアルに沿ったシミュレーション・訓練を行っています。全てのマニュアルを保護者へ配布し周知していないため今後対応していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	毎月避難訓練を行い様々な方法で取り組んでいます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	関連する資料の読み合わせや外部での虐待研修に参加し、社内研修で全職員の共通意識に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	現在まで行ったことはないが、やむを得ず行う場合は身体拘束マニュアルや書類を整備し、適切に対応できるようにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	アレルギーがある場合は保護者から詳細を確認しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	日々の振り返りで報告書類作成を行い、情報共有を行って対策や改善を行っています。